


株式会社クボタケミックス 小田原工場

1. 事業概要

住所	〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂7-6-1	
従業員数	159名 (2019年12月現在)	
敷地面積	61292㎡	
事業内容	塩ビ管・継手の製造	

主要製品

塩ビ管

- ・一般、HI、SGR-NA、SRA、SRB、
- ・HT、電線、三層、二管路、
- ・農水圧力、下水、カラーさや管



▲SGR-NAパイプ



▲カラーさや管

塩ビ継手

- ・TS、HI、DV、VUDV、HT、
- ・リブ、透明、カラー、SGR
- ・ハイゲートバルブ



▲透明継手



▲HTパイプ・継手

工場変遷 (沿革)

1967年3月	久保田鉄工株式会社 小田原工場 ビニルパイプ工場 完成
1978年	SGR-NAパイプ 製造開始
1981年	ポリブデンパイプ 製造開始 松田出荷センター 完成
1983年	ガス用ポリエチレン管 製造開始
1989年	PM優秀事業場賞 受賞
1998年	ISO9001認証 取得
1999年	SGR-NAVH管 製造開始
2000年	ISO14001認証 取得
2001年	リサイクル三層発泡管 製造開始
2002年	リサイクル三層管(ソリッド三層管) 製造開始 小田原西配送センター 完成
2005年4月	クボタシーアイ株式会社 設立
2006年	ポリブデン管、ガス用ポリエチレン管 栃木・塚工場へ生産拠点変更
2009年	塚工場より、TS継手・HI継手・HT継手生産移管
2016年5月	「株式会社クボタケミックス」へ社名変更
2018年6月	耐火ビニルパイプ 製造開始

株式会社クボタケミックス 小田原工場

2.環境方針

ISO環境方針

クボタケミックスグループ 環境方針

クボタケミックスグループは、合成樹脂を原料として、社会生活に必要な不可欠な水道管、下水道管などのライフラインを社会に提供しています。
その活動において、地球環境の保全が人類全体の課題であり、企業にとってその対応が重要な責務である事を認識し、環境保全に不断の努力を行います。

【理念】

- ・私たちは、地球規模で持続的な発展が可能な社会の実現をめざします。
- ・私たちは、環境に配慮した企業活動・製品・技術を通じて、地球環境・地域環境の保全に配慮した企業活動を行います。

【方針】

1. 製品の設計・開発、生産、販売、物流、サービスまでのすべての段階において、環境保全に積極的に取り組みます。また、環境マネジメントシステムを導入し、自主的・具体的な目標と行動計画を定めて、日常の業務を推進し、継続的に改善する事によって、長期的で幅広い観点から環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 社会の持続的な発展に寄与できる製品の開発ならびに製造を推進するとともに環境リスクの低減及び環境汚染の未然防止に努めます。
3. 自然環境や生物多様性に配慮した企業活動に努めます。
4. 環境関連法、条例、協定及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し、取引先に対しても、環境保全活動への理解と協力を求めます。
5. この環境方針を実践するため、環境保全中期実施計画達成に向けて、その実施状況を定期的に確認し、環境マネジメントプログラム計画の見直しを行います。
6. この環境方針を、当社で働く人、当社の為に働く人 及び取引先に周知させると共に、各人が日常生活においても環境に配慮した行動を行うよう、環境意識の向上に努めます。
7. 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。また、この環境方針は、私たちの姿勢を理解していただくため、一般の人にも入手可能とします。

2020年7月1日

株式会社クボタケミックス
執行役員 ものづくり本部長

西村 昌和

ISO認証取得状況

2000年	ISO14001 認証取得(審査機関:日科技連)	
2011年	サーベイランス兼組織統合審査兼拡大審査	(登録継続)
2012年	更新審査 受審	(登録継続)
2013年	第1回サーベイランス 受審	(登録継続)
2014年	第2回サーベイランス 受審	(登録継続)
2015年	更新審査 受審	(登録継続)
2016年	第1回サーベイランス 受審	(登録継続)
2018年	ISO14001:2015 移行・認証取得	

株式会社クボタケミックス 小田原工場

3. サイトデータ(2019年1月～12月の実績)

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	6,974
水使用量	万m ³	2.8

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	13,078
----------------------------	-------------------	--------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		—		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
	SO _x	—	ばい煙発生施設なし		
	NO _x	—			
ばいじん	—				

排水量	合計量	万m ³	0.8
汚濁負荷量	COD	kg/年	—
	窒素	kg/年	—
	りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	C排水口		D排水口	
				規制値	測定値	規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.8, 8.6	8.0, 8.3	5.8, 8.6	7.9, 8.4
		BOD	mg/ℓ	60	1	60	1
		COD	mg/ℓ	60	1	60	3
		窒素	mg/ℓ	120	0.4	120	1
		りん	mg/ℓ	16	0.1	16	0.1
		六価クロム	mg/ℓ	0.5	0.05	0.5	ND
		鉛	mg/ℓ	0.1	0.01	0.1	0.01
		COD総量規制値	kg/日	—	—	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—	—	—
下水道		pH	最小値, 最大値	—	—	—	—
		BOD	mg/ℓ	—	—	—	—
		COD	mg/ℓ	—	—	—	—
		SS	mg/ℓ	—	—	—	—

※C排水口測定値はケイユー(株)測定分

廃棄物排出量	t	128
再資源化率	%	99.7

VOC排出量	t	—
--------	---	---

PRTR法対象物質集計結果

単位: kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
239	有機スズ化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
305	鉛化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96

※ 拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上の物質について集計

4.環境トピックス

1) 環境保全中期計画でCO2、水資源、廃棄物の低減を推進しています。

- <CO2>
- ・省エネ効果の高い駆動ベルトに交換
 - ・押出金型に保温カバーを設置して熱放出を低減
 - ・コンデンサーの老朽で高効率機に更新
 - ・射出成形機の作動油を省エネ付加価値製品に変更
 - ・チラーの老朽で高効率機に更新

<水資源> ・パトロールで漏水箇所抽出、対策と修理実施

<廃棄物> ・市役所、県政センターの許可を得て木くず、木パレットを銭湯にボランティア提供

2) 地域の美化活動に継続的に参加しています。

酒匂川河川敷清掃「クリーンさかわ」

3) 年1回、全従業員対象に環境教育を実施し、環境意識の向上を図っています。

2017年度環境教育テーマ「生物多様性と廃棄物管理」 (2017年6月19日～6回開催)



4) 「COOL CHOICE」運動

環境省が展開する「COOL CHOICE」運動に賛同し、照明や空調スイッチにマークを掲示してCO2削減に向けた行動を呼びかけています。

(2016年6月1日～)

5.環境コミュニケーション

① 地域美化活動

(1) 名 称 クリーンさかわ
酒匂川河川敷清掃

日 付 2019年5月12日

参加人数 6名

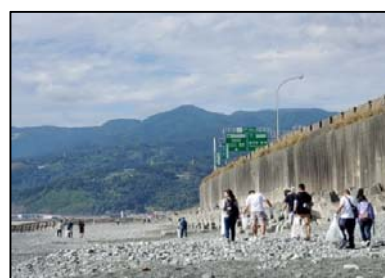


「クリーンさかわ」参加

(2) 名 称 小田原御幸の浜海岸清掃

日 付 2019年9月29日

参加人数 7名



「浜海岸清掃」の様子